



2

きれいな羽はね



森の学校に、きれいな羽はねをもった

くじやくが 転校てんこうしてきました。

「くじやくさん、きれいな羽はねを

見せてちょうだいよ。」

「ぼくの 言ういことを、きいてくれるなら
いいよ。」

しゃしんを
見てみよう



12-1

大人気のくじやくは、きれいな羽はねが あれば、
いつでも 友ともだちができると とくいに
なっていました。ところが しばらくたつと、そばには
だれもいません。

(きれいな羽はねが あるのに、どうしてだろう。)

くじやくは 考かんがえましたが、よく分わかりません。
遠足えんそくの日の 羽はねが ことです。

目じるしになるので、くじやくは、先生に 先頭せんとうの

12-2

13-1

やくめ
役目を たのまれました。

うし
後ろを 気にしたり、あぶないところを

おし
教えたりして、先頭せんとうは大いそがしです。でも、

みんなのために がんばりました。

しばらくすると くまさんが、くじやくのかわりに

あぶないところを 教おしえてくれました。きつねさんは、

れつを 直なおしてくれました。くじやくの まわりには、

たすけてくれるなかまが いっぱいです。



「くじやくさん、おかげで、^{たの}楽しい
^{えんそく}遠足に なったよ。」

「みんなのおかげだよ。」

たすけてくれて ありがとう。」

つかれて ^{はね}羽は

よれよれになっただけけれど、なかまに

かこまれたくじやくは えがおで ^い言いました。

(文 編集委員会 / ^え絵 よしざわけいこ)